



令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修通信



テーマ 移行支援シートについて

令和7年8月1日(金)

第9回研修会(発達・子育て支援分野)を開催しました。

20名の先生方と一緒に学び合いました。
(保育所(園)4名・幼稚園2名・認定こども園11名・小学校2名・療育施設1名)

※ この研修通信は、園内の体制等でご参加いただけなかった皆さまにも研修会での学びの一端が伝わることを願って、研修会終了後の参加者による『振り返りシート』をもとにまとめたものです。

説明「移行支援シートの作成について」

講 師 宇治市乳幼児教育・保育支援センター(併任)

宇治市特別支援教育推進委員

宇治市立ひがしうじ幼稚園主幹・特別支援教育コーディネーター 中村 清美



移行支援シートの作成について感じたこと

伝えたい内容をまとめるのが難しいと感じる

1枚にまとまっているため見やすい

同じシート、同じ形式で小学校中学校と
引き継がれて繋げていけるので有効

[illegible]

グループワークの中での
気付きや学び
「移行支援シートの
記入の仕方について」



移行支援シートを無駄にせず
互いの連携として使いたい

実際に使っている施設の
話が聞けて良かった

実際の活用状況や良い
部分を知ることができた

子どもたちに対する悩みや喜びは
どの園でも共通する

移行支援シートの取組方法
など役立てていきたい

どの子どもにも得意なこと、
自信のもてることがある

講演 演題「特別な配慮を要する子どもへの切れ目ない支援について」

講師 宇治市特別支援教育推進委員
宇治市立木幡中学校・通級担当
教諭 高間 恵美子 先生



講演の中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間にも知らせたいこと)

切れ目のない支援

- 小学校・中学校・高校、卒業後社会に出てからの姿を見据え、支援がつながっていくための移行支援シートであること
- 子どもたちのことを長い目で支援することの重要性
- 卒園したら終わりではなく、始まりであること

できることから

- 「できないこと」よりも「できること」に目を向ける
- それぞれの良さを感じながら生きていけるようにしていくための支援
- サポートの方法をつなげていく顔の見える関係の大切さ

保護者

- 保護者の思いも反映していける個別支援
- 先生と保護者が共通理解のもと進めていける
- 受容に時間がかかる場合でも長期的に考えていける安心